

## 紫電改の重要航空遺産の認定について

このたび、紫電改展示館（愛南町）で公開されている日本に現存する唯一の実機「紫電改」が、一般財団法人日本航空協会の『重要航空遺産』の13例目（中四国では初）として、認定されることとなり、以下の日程で認定証授与式を開催します。

### 〔重要航空遺産認定証 授与式〕

日 時：令和7年7月25日（金）15時～

場 所：紫電改展示館（愛南町）

出席者：日本航空協会会長、知事ほか

#### ■ 紫電改展示館の実機



#### ■ 重要航空遺産認定制度

歴史的文化的に価値の高い「航空遺産」を認定し、その意義を広く社会に知らしめ、後世に遺していくため日本航空協会が平成19年に設立。現在までに12例が認定されている。

#### ■ 日本航空協会の認定理由

紫電改は当時としては極めて先進的な設計であった。具体的には独自の翼形状や旋回性能を高める装置の搭載に加え、高性能エンジンを備えており、当時の日本の航空機開発の到達点の一つとされていること。

さらに現在展示されている機体は国内で現存する唯一の実機であり、海中から引き揚げた後も、可能な限りオリジナル部分を残すことに注意が払われた修復が施されている点など、技術的価値・歴史的価値の両面において高く評価された。

#### ■ （一財）日本航空協会の概要

- ・ 目 的：内外の航空宇宙団体との連携のもと、航空宇宙の進歩発展に寄与することを目的に航空業界が中心となって、1952年に設立した団体。
- ・ 事業内容：航空遺産継承、航空宇宙文化事業、航空スポーツ事業 等
- ・ 住 所：東京都港区新橋 航空会館
- ・ 会 長：植木 義晴（元日本航空（株）（JAL）会長）
- ・ 法人賛助員等：JAL、ANA、AIR DO、Jetstar、スカイマーク等

## ■重要航空遺産一覧

|    | 重要航空遺産              | 所有者または展示場所       | 認定日         |
|----|---------------------|------------------|-------------|
| 1  | YS-11 輸送機量産初号機      | 国立科学博物館          | H20. 3. 28  |
| 2  | 九一式戦闘機              | 埼玉県              | H20. 3. 28  |
| 3  | 戦後航空再開時の国産航空機群      | 東京都立産業技術高等専門学校   | H21. 5. 18  |
| 4  | 日本初の動力飛行をした飛行機のプロペラ | 国立科学博物館          | H22. 12. 19 |
| 5  | 零式水上偵察機             | 南さつま市            | H23. 12. 1  |
| 6  | 代々木連兵場跡地            | 東京都渋谷区           | H23. 12. 1  |
| 7  | UF-XS 実験飛行艇         | 防衛省海上自衛隊         | H26. 3. 27  |
| 8  | X1G1B 高揚力研究機        | 防衛省技術研究本部        | H26. 3. 27  |
| 9  | 一式双発高等練習機           | (株)立飛ホールディングス    | H28. 7. 2   |
| 10 | 東京大学駒場Ⅱキャンパス風洞      | 東京大学先端科学技術研究センター | H31. 1. 25  |
| 11 | 四式戦闘機「疾風」           | 知覧特攻平和会館         | R5. 2. 14   |
| 12 | 三式戦闘機「飛燕」           | 岐阜かがみがはら航空宇宙博物館  | R5. 3. 25   |

問合せ先

愛媛県土木部道路都市局 都市整備課  
公園緑地係 電話 089-912-2745